

## フォーラム・セミナー報告

## 第4回フォーラムを開催しました

日時：2010年12月11日(土)

場所：千里山キャンパス 第1学舎 千里ホールA

学生のアクティブ・ラーニングを展開するGPがスタートして Semester 3期が経過した。その間、アクティブ・ラーニング促進の役割を担うLAは延べで約50名、現在(2010年度秋学期)は25名が活動している。

LAの出自、経歴等の背景は多様であるし、背景と担当科目との関係も様々ではない。また、LAの活用の方法や形態も教員によって様々である。したがって典型的なLA像を描くことは難しい。

もっとも学生の主体的な学習の推進・展開を目指すのであれば、それを促すロールモデルにも窮屈な型はない方がよい。とはいえ、LAの活動やアクティブ・ラーニングの現状を省察し、それぞれの今後を展望するに当たって基準となるものはあらまほしい。

今回のフォーラムは3年に亘るGPプログラムの中盤に開催したが、ここに

至るまでに少なくともLAに関してはいくつもの知見や情報が蓄積されてきている。しかし、それらが全てのLAの間、ならびにLAを活用している全教員の間で共有されているわけではないし、共有されていても汎用性のあるものになっているとは限らない。そもそも汎用性が求められるべきなのか、求められるとしたら、どの程度が適切なのか、そのことについての基準を定めるには至っていない。

本GPが学生の活動を鍵とする教育に関する取り組みであることを勘案すれば、机上にて作成し、申請したプログラムよりも優先すべきことやものがある。しかし、それも上記と同様、的確に選定するには至っていない。そこで、このたびのフォーラムをこれまでの活動を振り返り、課題を整理し、あるいは気づいていない課題を掘り起こす契機にしたいと願った。

フォーラムでは、学生を主体とした授



LA学生を交えてのGP中間報告

業あるいは授業外の活動展開の第一人者である橋本勝氏(岡山大学)と、アクティブ・ラーニング研究の第一人者である溝上慎一氏(京都大学)にご登壇頂き、LAの今後の活動、またその活動を反映すべきアクティブ・ラーニングの在り方について興味深い示唆を頂いた。末尾となったが、LAはわたくしたちの想定をはるかに越えた力とエネルギーを有し、活躍していることを申し添えておきたい。

(教育推進部 三浦真琴)

## 基調講演

橋本 勝氏 (岡山大学)

## 学生参画型教育改善の可能性

～ラーニングアシスタントの先に見えるもの～

## ●発表要旨

2001年から先駆的に開始した岡山大の学生参画型FDは着実に実績を伸ばしてきた。例えば、一般の学生が受講した授業に関して担当教員に直談判という形で改善提案をする内容の『大学授業改善論』をはじめとする8つの学生発案型授業の実現や新入生の戸惑いを防ぐことを主目的に年度開始直後に学生自主企画として開催する「履修相談会」など多岐に及ぶ。教育は「学生と一緒に創るもの」という大学としての意識がそれを支えている。

## ●本学GP取組に関する感想

LAを軸とするこのGPはピアサポートの一種として一定の有効性を持つものの、優秀な学生や意欲的な学生が授業をサポートするという姿勢だけでは、多くの学生の主体的学びを喚起するところまでには至りにくいのでは、というのが率直な感想である。私もかく著名な溝上先生が講演者である割にはフォーラムの参加者がやや少なかった一因は、関西大学の取組が「よくある内容」に留まっているからではないかという気がする。



登壇者及び教職員・学生によるパネルディスカッション

## 基調講演

溝上 慎一氏 (京都大学)

## アクティブラーニングだからこそ求められる知識、広がる学生生活

## ●発表要旨

大きく2つのテーマで報告をおこなった。1つは、アクティブラーニング(型授業)についての概論であり、定義、一般的理解、そしてカリキュラムや授業システムのなかでの導入の工夫について、報告者自身の事例を交えて話をした。もう1つは、学生のアクティブラーニングへの関与や経験が、学生の1週間の過ごし方や2つのライフ(将来の見通しを持ち、かつそれを日常につなげて実践していること)と密接に関係していることを、全国データを用いて報告した。

## ●本学GP取組に関する感想

大学では、上級生が下級生・新入生を教える、支援するという異学年交流としてのピアサポート・システムが積極的に取り入れられ始めている。同じ青年期に属する先輩・後輩の関係であるから、当該授業内容に関する相談や助言はもちろんのこと、それをきっかけに、大学生生活の過ごし方やある問題状況の解決、将来・就職のことなど、話が広がることが多い。それは教職員の個別相談以上の教育的効果を持っている。当日、担当者から取り組みの報告を拝聴したが、このような観点の効果がデータで示され、かつLAの志願者も増えているとのことであった。とても良い取り組みだと感嘆した。LAスタッフの学生の発表もとてもよかった。LA制度の益々の発展を期待したい。